

熱帯林の保全のために

国際熱帯木材機関



ITTO とは？

国際熱帯木材機関 (ITTO) は熱帯林資源の保全と持続可能な経営、利用、貿易を促進している政府間組織です。

現在のITTO加盟国

70

カ国 (EUを含む)
によって

世界の熱帯林の

80%

および
世界の熱帯木材貿易の

90%
を占めています



ITTO の使命

世界の熱帯林を保全、復元、維持するための世界的な取組みを促進しています。また国際パートナーシップや現地でのプロジェクトを通じて持続可能な森林経営 (SFM) を効果的に行うための様々なアイデアやアプローチを開拓します。

熱帯林の持続可能な経営に
おける30年に及ぶグローバル
リーダー

ビジョン

林産物の持続可能な利用を通じた地域コミュニティの生活の向上と経済回復力の強化

森林破壊の減少と生物多様性の保全の推進

気候変動への適応策を提供

熱帯木材・木材製品の合法性と市場の透明性の改善

林産業の効率性の増進

SFM とは？

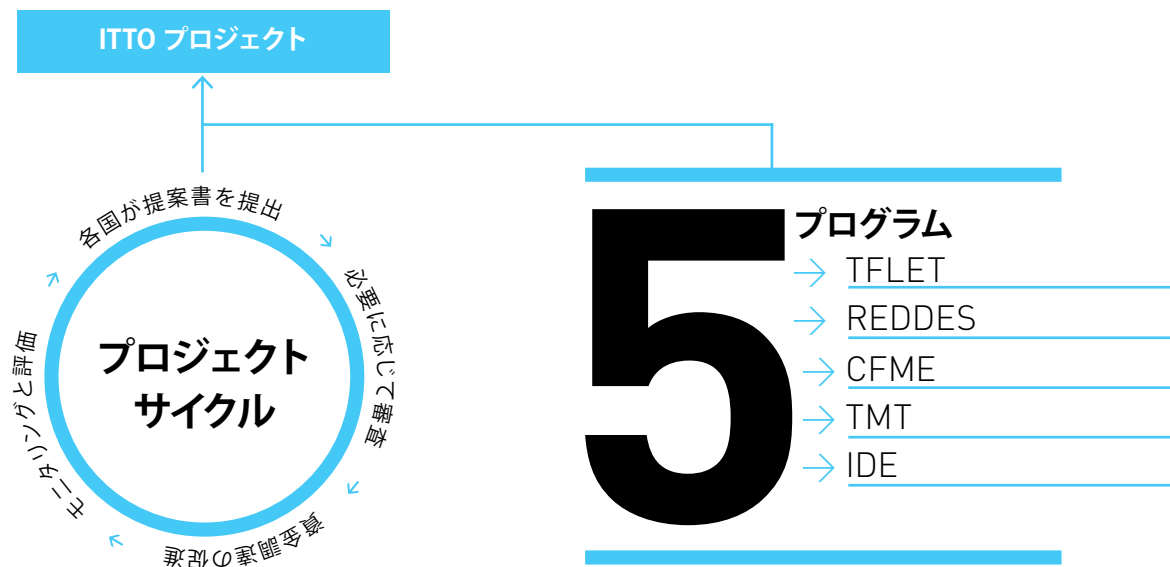
持続可能な森林経営 (SFM) とは森林の生産性を維持するためにその社会経済的・環境的価値を守りながら、森林を維持、管理していくことです。

きれいな水の供給や炭素の隔離、また生物多様性の保全というような生態系サービスを維持しながら、森林に依存する地域社会の社会的・経済的条件を向上させるためにはSFMの達成が不可欠です。

私たちのプログラムやプロジェクトは熱帯林のSFMの達成に尽力してきました。しかしながら、これから多くの活動が必要とされています。ITTOのリーダーシップを通じて私たちは世界の熱帯林のためにSFMを実現するための基盤を提供しています。

プロジェクトの実施方法

各国主導のプロジェクトサイクルと5つのユニークなプログラムを通じてプロジェクトが実施されます。



ITTOはこれまでに

1000

件以上のプロジェクトやプログラムに

4億 米ドル

の資金提供を実施してきました

森林法の施行、ガバナンス及び貿易

熱帯林における森林破壊・森林劣化の減少および環境サービスの強化

コミュニティによる森林経営と事業

貿易と市場の透明性

産業開発と効率性

Cordillera del Condor (エクアドル) の地域社会の様子
写真: N. Kingman

SFMとは持続可能で
回復力のある生活を
創り出すことです

Asháninka 民族グループの苗木園
写真: R. Guevara

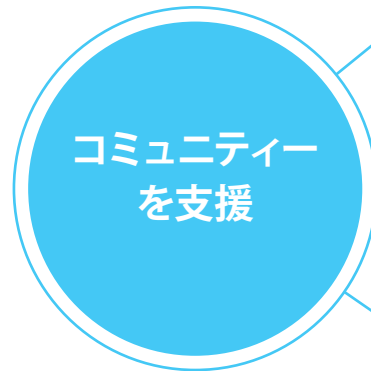


私たちの目標は、森林に依存するコミュニティとともに持続可能な生活を創り出し、力強く、回復力のある地域経済を発展させることです。

ケーススタディー: ペルー

ITTOはペルーの天然資源管理機関と共同でAsháninka民族の7つの先住民コミュニティを支援するプロジェクトに資金を提供しました。このプロジェクトでは、彼ら先住民の森林から得られる木材の潜在価値を評価し、森林経営計画を策定して、適正価格で木材を販売できるようにしました。さらに森林経営と木材加工スキルについて若者にトレーニングを実施した他、苗木園の管理やエコツーリズムなどの所得収益活動を始めようとする母親達のグループを組織する女性達も支援しました。

地域社会と連携した取り組みは持続可能な森林経営を成功に導くための鍵となります。



より効率的な森林資源の加工プロセスの創出

森林資源を持続可能な形で管理、利用するための地域コミュニティの能力育成

森林資源と土地保有権へのアクセスを促進

市場へのアクセスと林製品の公正な価格交渉

「このプロジェクトのおかげでコミュニティの今後の展望が大きく変わりました。若い世代は今、私たちコミュニティの森林を従来よりも上手く管理できるようになりました。未来のためにこれからも改善していきます。」

フェルナンデス・サント B氏、Sargento Lorenz コミュニティ（ペルー）

SFMとは森林保護を支援することです

2005年から2010年の間にITTOの事業によって持続可能な経営下における熱帯林の面積が50%増加しました。

Kahuzi-Biega 国立公園のゴリラ (コンゴ民主共和国)
写真: A. Boedhihartono



ガイドラインの策定

2009年に国際自然保護連合 (IUCN) と共同で『熱帯生産林における生物多様性保全と持続可能な利用のためのITTO/IUCN共同ガイドライン』を発表しました。コンゴ民主共和国北部は生物多様性にとってアフリカでも最も重要な地域のひとつで、ゴリラなどの絶滅危惧種が生息している地域ですが、そこでのプロジェクトをはじめとするITTOのプロジェクトや活動から得た教訓がこのガイドラインに活かされています。

能力開発

ITTOは絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約(CITES)事務局と協力して、世界の主要な木材輸出国における地域の能力開発を行っています。例えば木の識別や木材追跡などの分野で研修を実施したことで、樹種の管理と保全のスキルを大幅に改善するという成果を挙げています。

ケーススタディー: マレーシア/インドネシア

越境保全地域の開発を支援:

ITTOは1千万ヘクタール以上の越境保全地域をサポートしています。例えば、マレーシアとインドネシアの越境地域の生物多様性保全プロジェクトに対して資金提供を行い、4000頭以上のオランウータンの生息に不可欠な120万ヘクタールの土地を保護しています。また、地元政府が違法伐採の脅威を軽減して森林を保護できるよう、そしてその土地のコミュニティの人々が新しい収入の機会を得られるように支援しました。



Kuankus 川 (エクアドル)
写真: A. Bellusi & N. Kingman

私たちの活動では森林違法行為や森林劣化を軽減し、保全地域の管理能力の構築に取り組んでいます。

「地域社会での活動を通じて[彼ら自身が]生物多様性の保全に対する妨げである必要がないことを教わりました。地元の人々は実際にその土地で生活していることから、森林と森林資源を保護するために政府を支援しやすい立場にいます。そのことを我々は最も重要な教訓の一つとして学びました。」

マレーシア、サラワク州首相

Worobang 南部森林保護区 (カーナ) の苗床園で
仕事する地元の女性達
写真: P. Masupa

私たちのプロジェクトでは再植林、森林保護
森林再生活動を通じて、地域の気候変動の
問題解決に対して直接的に貢献しています。

SFMとは 気候変動
に対処する
ことです



熱帯林の生態系は、気候変動を緩和し、適応するという重要な役割を果たしています。持続的に管理すれば、森林による二酸化炭素吸収量は21世紀前半には世界全体の二酸化炭素排出量の10分の1程度を担える可能性があります。

健全な森林生態系が維持されれば、森林に依存する社会は気候変動の影響に上手く適応することができます。UN-REDDをはじめとするREDDプラスイニシアティブと協力しながら、私たちは様々なプロジェクトやREDDESプログラムを通じて気候変動の緩和とITTO加盟国における熱帯林の環境サービスの強化に努めています。

ITTOが及ぼす影響

30

件のREDDプラスプロジェクトを

27

の熱帯諸国で実施

ケーススタディー

ガーナのAnkasa保全地域でITTOは参加型ガバナンスと管理システムを推進し、同地域社会が森林保全のために積極的にREDDプラスに参加できるように支援しています。このプロジェクトではコミュニティに根差した森林経営をサポートすることで森林消失や劣化から生じる炭素排出量を削減し、REDDプラスの資金調達の仕組みから利益配分の機会を創り出せるように支援を行っています。

インドネシアでは、REDDプラスの成果を上げるためにSFMを実施するという国家戦略についてのマルチステークホルダー・プロセスを促進しています。このプロジェクトによって全国的なデータベースを構築するだけでなく、インドネシアのREDDプラス目標を達成する上でのSFMの重要性について500以上の多様な地域・国のステークホルダーに手法を伝授して、彼らの関心を高めることが出来ました。

ITTOはまた、地元の先住民族コミュニティがREDDプラスの恩恵を受けられるように取り組んでいます。ペルー、InfiernoのEse'Ejaコミュニティでは、先住民族の土地の権利を守るための調査機会を提供する他に、気候・地域社会・生物多様性プロジェクト設計スタンダード（The Climate, Community and Biodiversity Alliance: CCBA）やVoluntary Carbon Standard (VCS) などの国際炭素規格を順守できるよう、森林経営能力を強化するためのサポートを続けてきました。

> SFMとREDDプラスの重要性をステークホルダーに教育するためのワークショップを実施



> コミュニティによる森林経営能力を構築し気候変動適応策・緩和策のSFMへの統合を拡充させるとともにREDDプラスの環境社会セーフガードの確立をサポート



SFMとは森林ガバナンスを改善することです

「信頼性の高い最新の森林セクターに関するデータにアクセスすることや、森林伐採活動の監視能力を改善して監視活動に効果的に取組むことは、より透明性を持った森林活動と優れたガバナンスの実現に必須です。情報提供のおかげでステークホルダーは森林活動の監視に関する最新データに容易にアクセスでき、データ処理も行えます。」

ブノワ・メルテンス氏及びピエール・メソ氏（世界資源研究所）

私たちは熱帯林業界の透明性、参加、説明責任を改善するために強力で包括的なガバナンス政策および手順を推進します。

私たちは地方、地域、サブナショナル、国レベルのそれぞれの森林経営政策の策定と実施に重要な役割を果たしています。このような政策は効果的なリーダーシップを発揮し、ステークホルダー間の貴重な対話の機会を設け、さらには実践的に応用できるように策定されます。

ITTOでは政府が建設的な森林政策を整備できるようにして、業界団体やNGO、コミュニティが森林ガバナンスについての正しい決定を下せるように世界の木材貿易に関する重要な情報を提供しています。定期的にデータを提供することで市場の透明性を高め、違法伐採を減らす一助になっています。私たちは世界に広がるパートナーがより効率的に業務を遂行できるように支援しています。



丸太置き場に到着する丸太 (インドネシア)
写真: R. Carrillo



熱帯木材市場レポート (TTM) は12000人に配信されています。世界中の市場動向や貿易に関するニュースだけでなく、400品目以上の熱帯木材・付加価値製品の気配値情報を提供し、国際熱帯木材市場の透明性を改善しています。

ITTOは『世界の木材状況に関する年次評価報告書』を通じて熱帯木材貿易に関する**世界最大のデータソースと統計情報を提供**しています。この報告書はITTOのウェブサイトで見ることが可能ですが、毎年6000件以上のアクセスが寄せられます。



ITTOは**独立市場監視システム**プロジェクトを実施してきました。

SFMを実行 すること



政策を進め、実現します

熱帯林についての30年に及ぶ経験と知識を活かして、私たちは熱帯林の持続可能な経営と保護及び関連貿易をサポートする政策を進め、評価し、実行に移します。

Cordillera del Condor (エクアドル)
写真: A. Bellusi & N. Kingman



現場でのプロジェクトを進めます

私たち (ITTO事務局) には世界規模のつながりがあります。開発途上国の現場で効果的な活動を直接展開することで、熱帯林資源の持続可能かつ合法的な経営と地域経済の発展につなげています。

森林に依存するコミュニティで人材育成を行い、地元の人々が持続可能性を支える当事者意識を持ってもらうよう地域団体と共に活動しています。



信頼のおけるパートナーシップを促進します

熱帯木材生産国と消費国の間の公正で平等な相互に有益なパートナーシップ関係に基づき、私たちはプロジェクトや政策活動を進めます。

政府間組織、非政府組織、市民社会グループ、民間企業、熱帯林の保全と貿易に関する団体及び研修や研究機関に至るあらゆる立場のステークホルダーとのパートナーシップによって私たちの活動が活かされています。



良い影響を与えます

- > 持続可能で回復力のある生活と経済発展
- > 森林保護、保全と種の保護
- > 気候変動の影響を緩和し、適応する
- > 森林ガバナンスの改善

私たちと共に

世界の熱帯林の持続可能な 保全と一緒に取組みましょう

これまでの30年間、私たちの活動は世界の熱帯林に良い影響を与えてきました。しかしながら、まだやるべきことがたくさんあります。未来のために森林を守り、残していくというITTOのビジョンを実現するためにご支援をお願いします。

ITTOの組織やプログラム・プロジェクトについての詳細はウェブサイトをご覧ください。

URL: www.itto.int

国際熱帯木材機関

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい

1-1-1パシフィコ横浜

横浜国際協力センター5階

Tel: 045-223-1110

Fax: 045-223-1111

Eメール: itto@itto.int

